



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	中学生の発音とつづり字の知識の習得(2) ( fulltext )
Author(s)	松津,英恵
Citation	研究紀要/東京学芸大学附属竹早中学校(50): 61-68
Issue Date	2012-05
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/134433">http://hdl.handle.net/2309/134433</a>
Publisher	東京学芸大学附属竹早中学校
Rights	

# 中学生の発音とつづり字の知識の習得 (2)

松津 英恵  
英語科

## 要約

中学1年生から3年生までの生徒を対象に、発音とつづり字の規則の習得状況について、未知語を発音させ、録音したデータで採点を行う形式のテストと、アンケートによって生徒たちの学習状況、背景などの調査を行った。その後、習得が遅いと判断される綴り字について、習得を遅らせている要因について考察した。

キーワード 中学生 発音とつづり字の知識 習得

## I はじめに

本研究は、筆者が一昨年度に行った中学生の発音とつづり字の知識の習得についての調査の継続研究である。

日本の多くの中学校で、発音とつづり字の知識については、基本的なものを中学1年の最初の時期に指導することが多い。しかし、そのすべてを授業で扱うことは実際のところ、時間的な要因等により、難しい。アルファベット26文字の名前と読み方は多くの英語教師がこの時期に集中的に指導するが、2文字の子音、また2文字の母音などは、検定教科書の本文下に列挙されているものを、その課の言語材料、教材のトピックに対し、付属的に指導内容に盛り込むことが多い。そのため2文字の子音、母音については、教師側の指摘以外に、学習者達は教科書本文の音声指導、音読指導などを通して習得していくことも多いと考えられる。中学3カ年で発音とつづり字の知識がどのように習得されていくのかを探るために、前回の研究で得られたデータを参考に、次のような調査を行った。

## II 前回の調査の内容

### 1 調査の方法

調査の形式は、発音とつづり字に関するテ

ストと、その学習に関するアンケートで行った。対象は筆者が勤務する中学校に在籍する第一学年から第三学年までの各学年に在籍する生徒496名である。このうち、第2学年、第3学年に在籍する帰国生徒やテスト当日の欠席者、またテストで正しく録音の操作ができなかった者などについては分析からは除外している。

### 2 調査の手順

#### (1) テスト

テストでは、20個の未習と思われる語を挙げ、それらの語のつづりを提示し、音読させて、その音声を録音させた。調査で扱ったつづりは、8組の2文字の子音、母音また規則を含む語(ai, au, ew, oa, ph, ue, ui, magic “e”)と、母音が後に続く“c”である。この録音された音声について、正しく発音されているものとそうでないものを筆者が判断し、正しく発音されているものについては、そのつづり字と発音の規則に関する知識が習得されているとした。

テストとその採点の実施手順は次の通りである。

1) テストを行う前に、サンプルテスト(掲載は省略)でテスト形式やレコーダーの操作方法を確認し、その後本テストを実施した。対象となった語彙、つづり字は(資料1)にある

通りである。

(資料1)

1) ai /ei/ aim caisson
2) au /ɔ:/ baud laud
3) 母音“e”“i”“o”“u”などが 後に続く“c” ce-, ci- /s/ cede cilia co-, cu- /k/ cony cunner
4) ew /ju:/ /u:/ hew pew
5) oa /ou/ moat toad
6) ph /f/ monograph phatic
7) ue /u:/ /ju:/
8) ui /u:/ bruise cruit
9) magic “e”

2) テスト用紙(サンプルテスト, 本テスト)とレコーダーを回収。回収した音声データをすべて聴き, 各単語について, 調査の対象としているつづり字が正しく発音されているか確認した。

3) このとき, 採点基準として, 単語として正しく発音していなくても, 対象としているつづり字が正しく発音されていれば, 正解とした。例えば, 最初の“caisson”という語であるが, “ai”のつづりを/ei/と発音できれば正解とするので, 正しくは/keisn/であるが, /seisn/と発音していても正解とした。

4) 3)までの作業を終えた後で, 各単語とつづり字について, 学年ごとの正答率を計算した。

#### (2) アンケート

アンケートでは, 次の項目についての調査を行った。

(資料2)

学習者が
1) 未知語にどのように対応しているか。
2) 発音とつづり字の規則をどのようにして学んでいるか。
3) 中学校の英語の授業以外に, いつどこで発音とつづり字の規則について学習したか。

### 3 結果

#### (1) テスト

3 学年間のテスト結果について, 平均点, 最高点, 最低点で比較してみると, 学年が上がるごとに, 点数も上がる結果となった。また全体としては, 1年から2年にかけて, 発音とつづり字の規則をある程度のところまで習得し, 2年から3年にかけては緩やかな伸びとなった。

(資料3)

学年	参加者数	最低点	最高点	平均点	標準偏差
中1	140	2	18	9.1429	3.38760
中2	132	3	19	12.167	3.57080
中3	137	6	20	14.825	3.1.166

参加者数は, 分析の対象となった生徒数を示している。

また, つづり字別に正答率を出した表が(資料4)である。1年の段階で正答率の高いものもあれば, 3年でも正答率が50%を超えないものなど, 習得状況にばらつきが見られた。

#### (2) アンケート

学習者が辞書類を使って調べたり, 電子辞書に発音させたりするが, 学年が上がるごとに人に聞くことはしなくなることがわかった。また発音とつづり字の規則を学ぶときに学年が上がると, 問題集等にある発音問題を利用することが多くなることもわかった。問題集の場合, CD等の音声教材がないことも多いが, 解答に書かれている解説や, 発音記号などをもとにして学習すれば効率が良いことなどがその理由として考えられる。

またアンケートで調査した学習背景と, 今回のテストで得られた発音とつづり字の規則に関する学習者の知識の習得状況との間には特に相関関係のようなものは見られなかった。

### III 今回の調査内容

2. の調査, 及びその結果や分析から, “au” “ui”の正答率は低いという結果が得られた。前回の調査で対象としたつづり字のうち, 6種類は2文字の母音であった。今回はなぜこの2

(資料4)  
学年別 正解者数、及び正解率

中学1年生

	ai		ai		au		au		ce		ci		co		cu		ew		ew		oa		oa		ph		ph		ue		ue		ui		ui		VC-e		VC-e	
	1) aim	4) caisson	2) baud	15) laud	5) cede	6) cilia	11) cony	10) cunner	13) hew	19) pew	17) moat	20) toad	8) monograph	18) phatic	7) clue	14) hue	3) bruise	9) cruit	12) heme	16) mane																				
正解者数	59	30	14	21	62	104	143	135	41	48	82	63	100	90	81	60	44	48	19	63																				
回答者数	143	143	143	143	143	143	139	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143	143																					
正解率	41.3	21	9.8	14.7	43.4	72.7	100	97.1	28.7	33.6	57.3	44.1	69.9	62.9	56.6	42.0	30.8	33.6	13.3	44.1																				

中学2年生

	ai		ai		au		au		ce		ci		co		cu		ew		ew		oa		oa		ph		ph		ue		ue		ui		ui		VC-e		VC-e	
	1) aim	4) caisson	2) baud	15) laud	5) cede	6) cilia	11) cony	10) cunner	13) hew	19) pew	17) moat	20) toad	8) monograph	18) phatic	7) clue	14) hue	3) bruise	9) cruit	12) heme	16) mane																				
正解者数	72	58	37	31	84	104	141	134	67	71	111	96	124	111	132	94	53	69	43	80																				
回答者数	141	142	139	140	143	143	141	138	139	137	138	137	143	138	143	139	142	142	141	138																				
正解率	51.1	40.8	26.6	22.1	58.7	72.7	100	97.1	48.2	51.8	80.4	70.1	86.7	80.4	92.3	67.6	37.3	48.6	30.5	58.0																				

中学3年生

	ai		ai		au		au		ce		ci		co		cu		ew		ew		oa		oa		ph		ph		ue		ue		ui		ui		VC-e		VC-e	
	1) aim	4) caisson	2) baud	15) laud	5) cede	6) cilia	11) cony	10) cunner	13) hew	19) pew	17) moat	20) toad	8) monograph	18) phatic	7) clue	14) hue	3) bruise	9) cruit	12) heme	16) mane																				
正解者数	100	69	50	38	110	119	142	139	119	116	136	116	131	123	130	121	61	93	59	119																				
回答者数	142	142	142	142	141	141	142	141	142	142	141	140	143	141	143	141	142	142	141	142																				
正解率	70.4	48.6	35.2	26.8	78.0	84.4	100	98.6	83.8	81.7	96.5	82.9	91.6	87.2	90.9	85.8	43.0	65.5	41.8	83.8																				

録音ができていない回答者もいたため、同一学年でも設問によって回答者数は異なる。

各単語について、「知っている」と申告した参加者数

	ai		ai		au		au		ce		ci		co		cu		ew		ew		oa		oa		ph		ph		ue		ue		ui		ui		VC-e		VC-e	
	1) aim	4) caisson	2) baud	15) laud	5) cede	6) cilia	11) cony	10) cunner	13) hew	19) pew	17) moat	20) toad	8) monograph	18) phatic	7) clue	14) hue	3) bruise	9) cruit	12) heme	16) mane																				
7	1	4	1	2	0	1	3	1	1	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1	1																			
8	5	1	0	5	0	4	1	3	4	2	0	3	19	0	16	0	2	0	1	1																				
9	28	3	2	36	4	3	9	1	2	0	6	8	43	4	22	0	2	2	0	6																				
	34	8	3	43	4	8	13	5	7	3	6	11	63	4	41	0	4	2	2	8																				

(資料5)対象のつづり字を含む語彙の教科書教材での使用頻度

つづり字/中3正答率	ai	70.4//48.6	au	35.2//26.8	ew	83.8//81.7	oa	96.5//82.9	ue	90.9//85.8	ui	43.0//65.5
braille	③U1(11)	August	①U10(1) ②U4(1)	few	②U6(1) ③U2(1) ③U6(1)	abroad	②U2(1)	blue	②R2(1)			
e-mail	②U3(1) ③U4(1)	Australia	①U2(1) ②U1(1)	flew	②U1(1)	boat	①U10(1) ②U1(1)	true.	③U5(1)			
pain	②U5(1)	cause	③U5(1)	knew	③R3(1)	road	①U9(1) ③R1(1)	Tuesday	①U5(1) ②U2(1)			
rain	②U5(1)	because	②U5(1) ②R2(1) ③U3(1)	new	①U2(1) ②U1(1) ③U1(1) ③R3(1)	toast	①U4(1)					
rainbow	③U3(1)			news	②U1(1) ③U3(1)							
raise	③U4(1)			threw	②R3(1)							
wait	②U1(1) ③U5(1)											
afraid	③R3(3)											
教科書教材での使用回数	8	22	4	8	6	12	4	6	3	4	0	

つづり字の右の数字は、中学3年の調査参加者の正答率

(資料6)

考えられる要因\つづり字	oa	ue	ew	ai	ui	au
中学3年生での正答率	96.5//82.9	90.9//85.8	83.8//81.7	70.4//48.6	43.0//65.5	35.2//26.8
教科書教材での使用頻度	6	4	12	22	0	8
ローマ字読みの影響	×	×	×	×	×	×
アルファベット読みの影響	△	△	×	△	△	×

△ 多少影響があると考えられる。 × 影響があるとはあまり考えられない。

あるが、これらのうち“Australia”“August”については、使用される場面が限定される。

“because”については、中学2年で従属接続詞を導入後に使用される場面は増えるが、これら以外の既習語が“cause”のみであるとすると、“au”のつづり字を含む語彙が生徒たちのコミュニケーション活動の中で使用されることも限られてくることになる。このことは教科書での使用頻度が少ないことに始まり、習得を遅らせる原因の一つとなっていると考えられる。

#### (2) ローマ字読みの影響について

筆者が行った調査結果の中では、ローマ字読みの影響はほとんど見られなかったが、不正解者の音声データを処理する際、読み方がわからないからとりあえずローマ字読みをしてテストを凌いだと思われるデータも多くあった。読み方のわからないつづり字を目の前にしたときに、ローマ字読みを読み方を類推するための手段とすることが多いと考えられる。

#### (3) アルファベット読みの影響について

6つのつづり字の中で、“oa”“ue”は最も正答率が高い結果となった。(1)で述べた通り、使用頻度は高くはない。しかし最初の文字をアルファベット読みするためか正答率は高くなつたと考えられる。

## VI 結論

今回の調査では、発音とつづり字の規則の習得の遅いものについて考察したが、2文字の複雑な母音を調査の対象としたこともあり、それらを遅らせる要因が一定ではないという結果に

終わった。

筆者は原因として考えられる要因を3つ挙げた。このうち「教科書教材での使用頻度」「アルファベット読みの影響」については、あてはまる部分とそれだけでは説明しきれない部分が残った形となった。また「ローマ字読み」については、この調査での結果には出ていないが、考察で述べた通り、つづり字の読み方を類推する手段となると考えられる。

つづり字の読み方の指導をする際に、特に教科書教材での使用頻度が低いものについては、それらのつづり字を含む語彙を指導する機会に、あわせて読み方を指導することが必要であると言える。

最後に前回および今回の研究で調査に協力、助言、指導をして下さったすべての先生方に、この場を借りて、心より感謝申し上げたい。

## 参考文献

- 1) 松津英恵：“Japanese EFL learners’ Knowledge of Relations between Spellings and Pronunciations — An Analysis of the Performances of Junior High School Students — ” 東京学芸大学大学院教育学研究科修士論文 2010
- 2) 松津英恵：「中学生の発音とつづり字の知識の習得」 東京学芸大学附属小金井中学校研究紀要 pp.133-140 2011
- 3) *New Horizon English Course Book 1* ~ 3 (平成18年度版) 東京書籍

つづり字が他よりも習得が遅いのかその背景を中心に考察し、発音とつづり字の規則の習得に障害となるものについても考えた。習得を遅らせている要因を調べるために、「教科書教材での使用頻度」「ローマ字読みの影響」「アルファベット読みの影響」の3つの要因を挙げた。それぞれの要因について考えるために、調査の対象となった生徒たちが使用している検定教科書の本文で、6種類のつづり字がどの程度扱われているのか調べた結果が(資料5)である。また今回分析の対象としている6つのつづり字と、先ほどの習得を遅らせる要因と考えられる3つのことについて、(資料6)のような表にまとめた。

#### IV 結果

##### (1)教科書教材での使用頻度について

“au”については、数は多くはないが、このつづり字を含むいくつかの語彙が教科書教材で使用されている。一方“ui”については、このつづり字を含む語彙は見つからなかった。

また他に(資料6)の表から言えることについてもここでいくつか挙げておきたい。6つのうち、最初の文字をアルファベット読みするものに該当する“oa”“ue”はそれぞれ数回ずつ扱われ、使用頻度は高くはないものの、正答率は非常に高い。また同じく最初の文字をアルファベット読みするものに含まれる“ai”については、使用頻度は高くなるが、正答率は先に挙げた“oa”“ue”の2つのつづり字よりも低い結果となっている。

##### (2)ローマ字読みの影響について

ローマ字読みをすると正しい読み方に近い発音になるものは、今回調査の対象とした6つのつづり字の中にはない。したがって今回の調査の場合、ローマ字読みの影響はほとんどないと言える。

##### (3)アルファベット読みの影響について

この6種類の2文字の母音は、①最初の文字をアルファベット読み(文字の名前で読む)を

し、2つ目の文字を読まないもの(“ai” /ei/, “oa” /ou/, “ue” /u:/, “ui” /u:/)と、②2つの文字の読み方から全く違う読み方になってしまうもの(“au” /ɔ:/, “ew” /u:/ または /ju:/など)との大きく分けて2種類がある。前者であれば、比較的発音を類推しやすいが、後者は難しい。調査の結果、正答率が低かった“au”は後者、“ui”は前者にあたる。この2つのつづり字に関して言えば、前者の①に該当する“ui”の方が後者の“au”よりもやや類推しやすいことになるが、そのようにはならなかった。また今回調査した6つのつづり字から得られたデータ全体から考えると、2つの文字の読み方から全く違う読み方になってしまう“ew”は、最初の文字をアルファベット読みするものに該当する“ai”および“ui”よりも正答率が高い結果となるなど、アルファベット読みの影響はだけでは言い切れないという結果となった。

#### V 考察

##### (1)教科書教材での使用頻度について

“au”“ui”のつづり字の読み方について、それぞれの正答率を下げていく要因を考えた。考えられることは「教科書教材での使用頻度の低いこと」である。この使用頻度の低いことが、2つのつづりの習得を遅らせ、結果として先の調査で低正解率にとどまった原因の一つとも考えられる。しかし、同じように使用頻度が低いもので、“oa”“ue”などは、正解率は非常に高い。使用頻度の低いことによる弊害を埋め合わせできる要因が他にあると考えられる。

また“au”については、アルファベット読みの影響のない“ew”とも比べておきたい。この2つのつづり字の間では、正答率に大きな差が見られた。“ew”については、“new”“news”“few”などの基本語が教科書で使用され、これらは生徒たちの言語活動の中でも使用頻度が比較的高いと思われる。しかし、“au”を含む語で、教科書で使用されるものとして、“Australia”“August”“because”など、こちらも基本語彙が

(資料7)テスト

( )年 ( )組 ( )番 氏名( )

次の単語を声に出して読み、録音しなさい。

習っていない単語なので、間違えても恥ずかしいことは全くありません。

読み方がわからない単語でも、今まで習った知識や、知っている単語の読み方を参考にして、はっきりと録音されるように声に出してください。

また知っている単語には、右側の( )に○をつけて下さい。

- |    |           |     |
|----|-----------|-----|
| 1  | aim       | ( ) |
| 2  | baud      | ( ) |
| 3  | bruise    | ( ) |
| 4  | caisson   | ( ) |
| 5  | cede      | ( ) |
| 6  | cilia     | ( ) |
| 7  | clue      | ( ) |
| 8  | monograph | ( ) |
| 9  | cruit     | ( ) |
| 10 | cunner    | ( ) |
| 11 | cony      | ( ) |
| 12 | heme      | ( ) |
| 13 | hew       | ( ) |
| 14 | hue       | ( ) |
| 15 | laud      | ( ) |
| 16 | mane      | ( ) |
| 17 | moat      | ( ) |
| 18 | phatic    | ( ) |
| 19 | pew       | ( ) |
| 20 | toad      | ( ) |



発音とつづりの学習に関するアンケート

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_組 氏名\_\_\_\_\_

先日はみなさんに、発音とつづり字の知識の習得に関する調査に協力をしてもらいましたが、今回は普段の学習について、いくつか質問したいことがあります。以下の質問は成績にはまったく関係ありませんので、正直に教えてください。

1. 普段の家庭学習で、つづりを見て発音がわからない語がある時に、どうしていますか。  
あてはまるものの番号に○をつけてください。(2つ以上のものに○をつけてもかまいません。)

- ① 意味がわかればよいので、とくに何もしない。
- ② 辞書や教科書の単語リスト、単語集などを使用して、  
発音記号を調べ、参考にしながら確認する。
- ③ 電子辞書に発音させる。
- ④ 人(先生、家族、友人)に聞いて確認する。
- ⑤ その他(書いてください。)

( )

2. 普段の英語学習で、発音とつづりに関してよくやっていることはどんなことですか。  
あてはまるものの番号に○をつけてください。(2つ以上のものに○をつけてもかまいません。)

- ① 基礎英語などのラジオ番組を活用し、音声とつづりを意識するようにしている。
- ② 本文のCDがついた英語の本を活用し、そのCDを聞きながら、本文を読んでいる。
- ③ CD付きの単語集を活用し、そのCDをききながら単語の学習をする。
- ④ 問題集に出ている発音問題を活用する。
- ⑤ その他(書いてください。)

( )

3. 中学校の授業以外で、発音とつづり字の関係や規則(フォニックスなど)を習ったことはありますか。

- ① はい → いつ頃 ( ) (例)〇歳のとき 〇年生のとき  
どこで ( ) (例)小学校で 塾で
- ② いいえ

どうもありがとうございました。